

# なでしこ

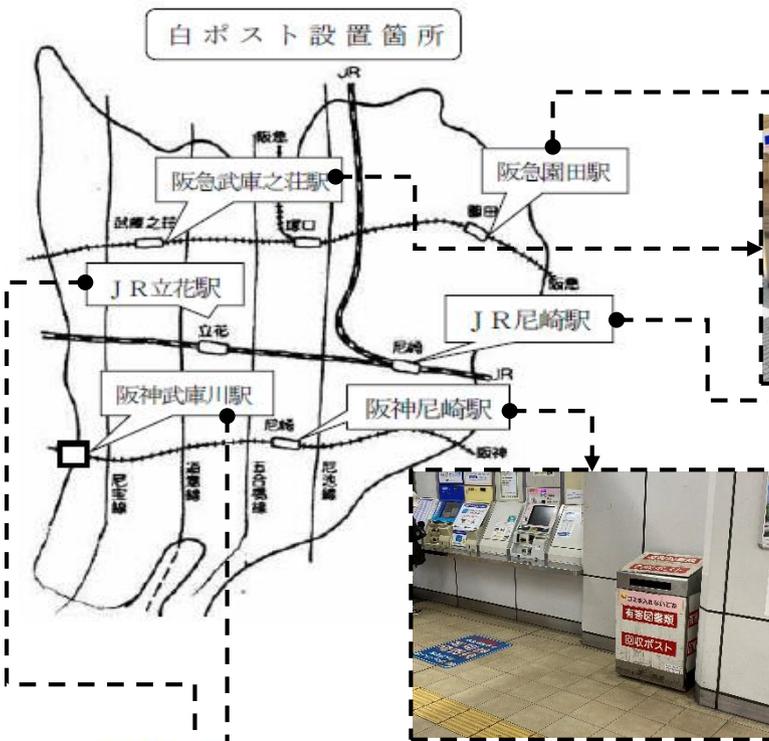
令和7年8月1日  
第316号

機関誌「なでしこ」は尼崎市内各地域で青少年の健全育成を見守る少年補導委員による情報誌です。  
「なでしこ」の花言葉は「注意する・さとす」です。  
子どもの頭を撫でながらさとしてもらいたいという願いを込めています。

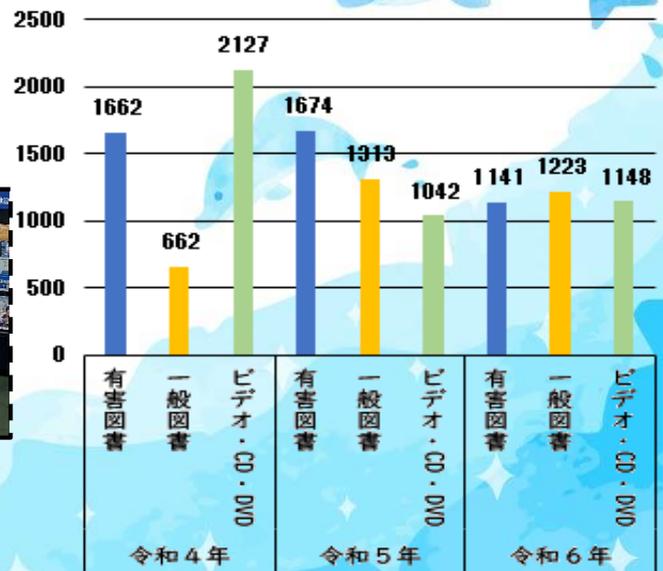
発行：尼崎市少年補導委員連絡協議会  
事務局：尼崎市教育委員会事務局  
社会教育課 人権教育・愛護担当  
【所在地】尼崎市三反田町1丁目1-1  
【電話】06-6423-8501

## ～ 少年補導委員による青少年の有害環境浄化活動 ～

尼崎市内には、「白ポスト」が6カ所設置されています。この白ポスト、有害図書類回収ポストとして、青少年の健全な育成を阻害する可能性のある雑誌やDVDなどを回収する目的で設置され、1～2週間に一度、尼崎市少年補導委員のみなさんが回収をしています。1963年に尼崎市かドラム缶を白く塗って設置したことから始まった「白ポスト」です。デジタル化が進み、ネット通販やデジタル配信によって有害な情報が広まる一方で、依然として有害図書やDVDは回収されており、青少年の有害環境浄化に貢献しています。



有害図書類回収状況の推移(過去3年)



## ～ 各地区の活動報告から ～

### 中央地区

近年、子どもの数が減ってきたことを実感します。以前は公園から元気な声が聞こえていましたが、今ではあまり見かけず少し寂しさも感じます。夏休みを前に交通マナーや不審者に注意しながら、子どもたちを温かく見守っていきたいです。



### 大庄地区

中学生の自転車登校を見かけるとの報告や出屋敷駅のロータリーやマクドナルド尼崎センタープール前駅下のローソン前、道意線の丸亀製麺前で6～7人の中学生が早朝や夜遅くに寄り集まり、自転車を乗り回したり、煙草を吸う姿を見たとの報告がありました。相手が複数いる場合は、無理に声かけすることのないように共有しました。



### 武庫地区

あっという間に梅雨も明け7月の初めと言うのに暑い日が続いています。パトロールの時は熱中症対策を忘れずにと委員さんには声掛けをしています。先日の理事会で、最近水タバコ（シーシャ）が子供達に広がっていると聞きました。使用できるのは紙タバコと同様の20歳からです。日本では未成年者喫煙禁止法で禁じられており、補導の対象となります。以上、補導委員さんへの情報提供でした。

### 小田地区

夜店は大勢の人が集まり皆、楽しそうです。その中、中高生の喫煙や飲酒の様子を見かけました。様子がひどかった為、地域の方が警察に連絡し巡回を依頼されました。

又パトロール中、危険行為が見られる場合は注意も行いますが、近年は大人を軽視する態度も見受けられ対応の難しさを感じています。

夏休みに入ります。子ども達の集まる所が安心安全であるよう、これからも見守り活動を続けていきます。

### 立花地区

北警察署より講師をお招きし研修会「女性のための護身術教室」を開催しました。

少年係のデータでは青少年が知らぬ間に被害者や加害者になる最近の犯罪の恐ろしさも再認識しました。護身術は参加者同士でペアになり、様々な離脱方法を実践しました。この原理や簡単なコツを利用し少ない力でも相手から逃げられることは大変参考になりました。子どもではまず「大声を出して逃げる」ことが一番大事とのこと。何かの機会に伝えていければと思います。

### 園田地区

子どもの発達特性の理解と関わりについての講演がありました。特性を理解することが、適切な関わりや支援につながると感じました。補導委員としても、子どもの行動や背景にある特性を意識し、優しく寄り添う声かけや見守りが大切だと考えます。



### コラム

例年より梅雨明けが早く、連日の猛暑で警戒アラートが発令される中、公園から子どもの姿が減っています。補導委員としては、子供たちが屋内に閉じこもりがちになることによるストレスや孤立に目を向け、見守りや声かけを強化したいです。また、熱中症対策の啓発も欠かせません。

### 編集後記

「た～まや～」  
花火大会でよく耳にする掛け声ですが、実は江戸時代に活躍した花火師の屋号が由来らしいです。花火は、本来、慰霊や疫病退散の祈りとして打ち上げられており、日本の花火大会では鎮魂の祈りが込められている場合があります。